

PHILIPS

ヘッドホン

3000 シリーズ

TAT3509



取扱説明書

製品登録とサポートのサイト:

www.philips.com/support

目次

1	安全上のご注意	2	7	注意	13
	聴覚への影響	2		適合宣言	13
	一般注意事項	2		使用済み製品と電池の廃棄	13
2	True ワイヤレスイヤピースについて	4		内蔵バッテリーの取り外し	13
	同梱品	4		EMF 規格準拠	14
	その他のデバイス	4		環境に関する情報	14
	True ワイヤレスイヤピースの概要	5		準拠に関する注意	14
3	使用準備	6	8	商標	15
	バッテリーを充電してください	6	9	よく尋ねられる質問	16
	着用方法	6			
	アプリのダウンロード	7			
	初めてイヤピースと Bluetooth				
	デバイスをペアリングする場合	7			
	別の Bluetooth デバイスと				
	イヤピースをペアリングする	8			
4	イヤピースの使用法	9			
	Bluetooth デバイスにイヤピースを				
	接続する	9			
	ANC (アクティブノイズキャンセリング)				
	のコントロール	9			
	電源オン / オフ	10			
	通話と音楽の管理	10			
	音声アシスタント	10			
	イヤピース LED インジケータの状態	10			
	充電ケース LED インジケータの状態	11			
5	イヤピースのリセット	12			
6	技術データ	12			

1 安全上のご注意

一般注意事項

損傷や不具合を避けるために:

聴覚への影響



⚡ 危険

- 耳を守るため、大音量でヘッドフォンを長時間続けて聞くことを避け、音量を上げすぎないようにご注意ください。音量が大きすぎると、安全に聞ける時間が短くなります。

ヘッドフォンを使用するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 適切な音量で、適切な時間だけ聴取してください。
- 耳が慣れてきますので、音量を上げ続けないように注意してください。
- 周囲の音が聞こえないほど音量を大きくしないでください。
- 危険を伴う場合には、使用を慎重に行うか、一時的に使用を中止してください。
- イヤピースやヘッドホンの音圧が高いと難聴になることがあります。
- 運転中に両耳をふさがれたヘッドフォンを使用することは推奨されておらず、一部の地域では違法となる場合があります。
- 安全のため、交通機関や危険が予想される環境にいるときは、音楽や電話に気を取られないようにしてください。

⚠ 注意

- ヘッドフォンを高温に晒さないでください。
- ヘッドフォンを落とさないでください。
- ヘッドフォンに水滴や水がかからないようにしてください。(お使いの製品の IP 等級を確認してください)
- ヘッドフォンを水の中に入れてください。
- コネクターやソケットが濡れている場合にはヘッドフォンを充電しないでください。
- アルコール、アンモニア、ベンゼン、研磨剤を含む洗浄剤は使用しないでください。
- 汗や耳垢などの物質が蓄積しないように、湿らせた清潔な布で、定期的に、ヘッドフォン、特に音導管やマイクの穴を掃除してください。
- 音導管や空気穴やマイク穴に汗や水滴が残っていると、一時的に音量が低下したり、まったく聞こえなくなります。これは故障ではありません。湿らせた柔らかい布で、ヘッドフォンを完全に乾かしてください。もしくは、イヤホンチップを取り外し、音導管を下に向け、乾いた布などの上にヘッドホン5回ほど軽くたたき、中に溜まった水を取り除いてください。
- 充電して使用する前に、ヘッドフォンが完全に乾燥していることを確認してください。清掃には、使い捨てアルコールパッドなどの使用は避けてください。
- 内蔵バッテリーは、日光や火などの高温に晒さないようにしてください。
- 電池の交換に誤りがある場合、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのみの電池と交換してください。
- 充電スロットのカバーを閉じないと、指定のIP等級を達成することはできません。
- バッテリーを火や高温のオープンに捨てたり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると爆発する可能性があります。
- 極端に高温の周囲環境に電池を放置すると、爆発や可燃性の液体やガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- 極端に低い気圧にさらされた電池は、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる恐れがあります。
- 誤ったタイプのバッテリー (一部のリチウム電池タイプなど) と交換した場合、ヘッドフォンやバッテリーを著しく損傷させる恐れがあります。
- ヘッドセットを長期間使用しない場合、充電式バッテリーが充電しにくくなります。この損失を避けるために、少なくとも3か月に1回、バッテリーを満充電してください。
- 火災を防止するため、デバイスには、出力が PS1 (出力容量が 15W 未満) に準拠する外部電源装置でのみ、電源を供給する必要があります。

使用・保管時の温度・湿度について

- 温度が -20°C (-4°F) $\sim$ 50°C (122°F) の範囲内で保管してください。(最大 90% の相対湿度)
- 温度が 0°C (32°F) $\sim$ 45°C (113°F) の範囲内で使用してください。(最大 90% の相対湿度)
- バッテリーの寿命は、高温または低温の条件下で短くなる場合があります。

2 True ワイヤレスイヤピースについて

ご購入頂きありがとうございます。Philips へようこそ! Philips が提供するサポートをすべてご利用いただくには、お客様の製品を www.philips.com/support からご登録いただく必要があります。Philips True ワイヤレスイヤピースの機能:

- 便利なワイヤレスハンズフリーでの通話を楽しめます。
- ワイヤレスで音楽を楽しみながら操作できます。
- 通話と音楽の切り替えができます。
- ノイズキャンセリング機能をお楽しみください



クイックスタートガイド

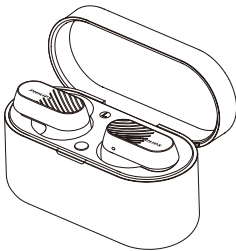


保証



安全説明書

同梱品



True ワイヤレスイヤピース TAT3509



イヤチップ x 3 組

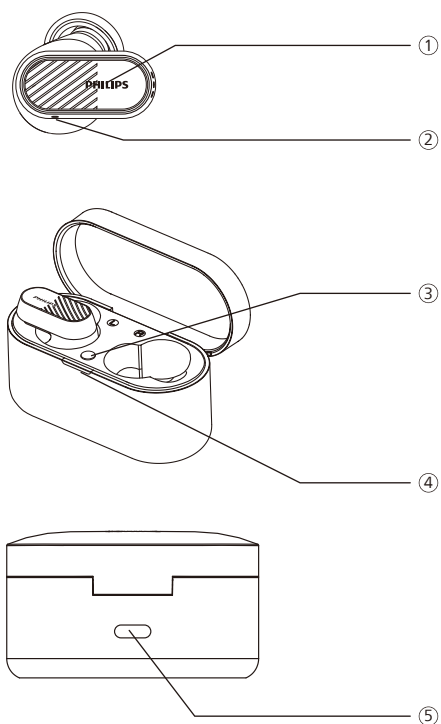


C 型 USB 充電ケーブル (充電のみ)

その他のデバイス

Bluetooth に対応し、イヤピースと互換性のある携帯電話またはデバイス (ノートパソコン、タブレット、Bluetooth アダプター、MP3 プレーヤーなど)

True ワイヤレスイヤピースの概要



- ① マルチファンクションタッチ (MFT)
- ② LED インジケーター (イヤピース)
- ③ Bluetooth ペアリングボタン
- ④ LED インジケーター (バッテリー状態
または充電状態)
- ⑤ USB-C 充電スロット

3 使用準備

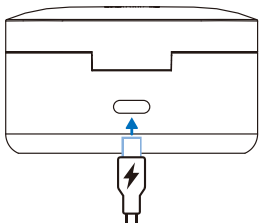
バッテリーを充電してください

注意

- ご使用の前に、バッテリーの容量と寿命を最適化するため、充電ケースの上にイヤホン置き、2 時間充電してください。
- 破損を防ぐため、付属の USB-C 充電ケーブルのみを使用してください。
- ヘッドセットを長期間使用しない場合、充電式バッテリーが充電しにくくなります。この損失を避けるために、少なくとも 3 か月に 1 回、バッテリーを満充電してください。

充電ケース

USB-C ケーブルの一方の端を充電ケースに差し込み、もう一方の端を電源に差し込みます。



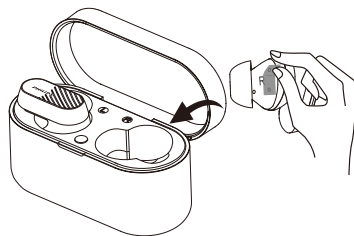
ヒント

- 充電ケースは、イヤピース充電用のポータブルバックアップバッテリーとして使用できます。充電ケースを満充電にすると、イヤピースを 2 回充電できます。

イヤピース

充電ケースにイヤピースを入れます。

- イヤピースの充電が始まり、白い LED ライトが点灯します
- 満充電になると白いライトが消えます



ヒント

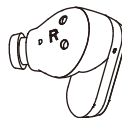
- USB ケーブルを使用した場合、通常、満充電まで 2.5 時間かかります (イヤピースまたは充電ケースの場合)。

着用方法

最適にフィットするイヤチップを選択します。

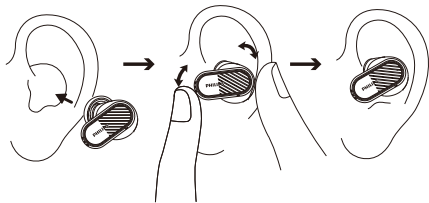
隙間なく確実にフィットすると、最高の音質やノイズキャンセリング機能が得られます。

- 1 音質が最高で快適に装着できるようなイヤチップを選択してください。
- 2 大・中・小の 3 種類のサイズのシリコンイヤチップが付属しています。



イヤピースを挿入する

- 1 イヤピースの左右方向を確認します。
- 2 耳の中にイヤピースを入れ、確実に装着されるまでわずかにひねります。



アプリのダウンロード

QR コードをスキャンし、「ダウンロード」ボタンを押すか、Apple App Store または Google Play で「Philips Headphones」を検索してアプリをダウンロードしてください。

接続する



Philips Headphones アプリで、再生中の音楽を管理することができます。音楽再生と通話の音質を、好みに合わせてカスタマイズできます。

初めてイヤピースと Bluetooth デバイスをペアリングする場合

- 1 イヤピースが満充電で、電源がオフになっていることを確認します。
- 2 充電ケースのカバーを開くと、イヤピースがペアリングモードになり、接続準備が整います。
 - 両方のイヤピースの LED が白と青で交互に点滅します。
 - これでイヤピースがペアリングモードになり、Bluetooth デバイス (スマートフォンなど) とのペアリングの準備ができました。
- 3 お使いの Bluetooth デバイスの Bluetooth 機能をオンにします。
- 4 イヤピースとお使いの Bluetooth デバイスをペアリングします。その Bluetooth デバイスの取扱説明書を参照してください。

注意

- 電源を入れた後で、イヤピースが、以前接続されていた Bluetooth デバイスを検出できない場合、イヤピースをペアリングモードにしてください (両方のイヤピースをボックスの中に置き、カバーを開いた状態でボタンを 3 秒間押します)。

次の例では、お使いの Bluetooth デバイスとイヤピースのペアリングの方法について説明します。

- 1 お使いの Bluetooth デバイスの Bluetooth 機能をオンにし、**Philips TAT3509** を選択します。
- 2 指示されたら、イヤピースのパスワード「0000」（ゼロ 4 つ）を入力します。Bluetooth 3.0 以降が実装されているデバイスでは、パスワードを入力する必要はありません。



Philips TAT3509

イヤピース1個 (モノラルモード)

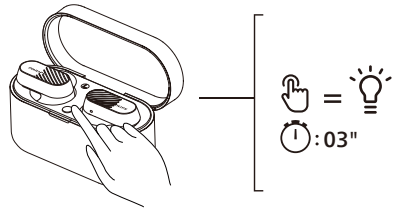
モノラルで使用する場合、充電ケースから左右どちらかのイヤピースを取り出します。自動的にイヤピースの電源が入ります。

注意

- 充電ケースから 2 番目のイヤピースを取り出すと、自動的に互いにペアリングされます。

別の Bluetooth デバイスとイヤピースをペアリングする

別の Bluetooth デバイスとイヤピースをペアリングしたい場合、単にペアリングモードにし（左右両方のイヤピースを入れカバーを開いたままで、ボックスのボタンを 3 秒間長押しする）、通常のペアリングと同様に、2 台目のデバイスを見つめます。



注意

- イヤピースのメモリには 4 台のデバイスが保存されます。5 台以上のデバイスをペアリングしたいデバイス場合、新しいデバイスの代わりに一番最初のデバイスが消去されます。

マルチポイント接続

ペアリング

- 2 台のデバイス（携帯電話とノートパソコンなど）とヘッドフォンをペアリングします。

2 台のデバイスの切り替え

- 音楽は 1 台のデバイスでのみ再生できます。もう 1 台は通話に使用されます。
- 1 台目のデバイスの音楽再生を一時停止すると、2 台目のデバイスから音楽再生が開始されます。

注意

- デバイス 1 からオーディオをストリーミングしているときにデバイス 2 に着信があると、自動的にデバイス 1 の音楽再生が一時停止します。このとき、通話が自動的にヘッドフォンに転送されます。
- 通話を終了すると、デバイス 1 の音楽再生が自動的に再開されます。

4 イヤピースの 使用法

Bluetooth デバイスにイヤピ ースを接続する

- 1 お使いの Bluetooth デバイスの Bluetooth 機能をオンにします。
- 2 充電ケースのカバーを開きます。
 - ↳ 白い LED が点滅します。
 - ↳ イヤピースは、一番最後に接続した Bluetooth デバイスを検索し、自動的に再接続します。一番最後に接続したデバイスに接続できない場合、イヤピ
ースは、その前に接続したデバイスを検索して再接続します。

ヒント

- イヤピースの電源を入れた後で Bluetooth デバイスの Bluetooth 機能をオンにする場合、デバイスの Bluetooth メニューに移動し、手動でデバイスにイヤ
ピースを接続する必要があります。

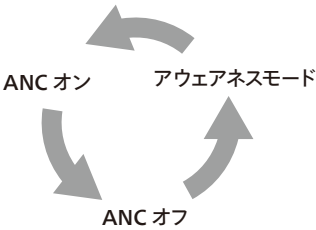
注意

- 自動的に接続できない Bluetooth デバイスもあります。その場合、デバイスの Bluetooth メニューに移動し、手動でデバイスにイヤピースを接続してください。

ANC (アクティブノイズキャン セリング) のコントロール

ANC の起動

- 左側のイヤピースを 2 回タップすると、別の ANC モードに切り替わります。
- イヤピースを耳に差し込むと、ANC 機能が自動的に起動します。
 - MFT を 2 回タッチすると、ANC 機能がオフになります。
 - もう一度 MFT を 2 回タッチすると、アウェアネスモードに変化します。



タスク	MFT	操作
ANC オン	左イヤピース	2回タップする
アウェアネスモード	左イヤピース	2回タップする
ANC オフ	左イヤピース	2回タップする
クイックアウェ アネス	左イヤピース	タッチし続ける

電源オン/オフ

タスク	MFT	操作
イヤピースの電源を入れる		充電ケースの蓋を開くと電源が入る
イヤピースの電源を切る		充電ケースの蓋を閉じると電源が切れる

通話と音楽の管理

音楽の制御

タスク	MFT	操作
音楽の再生または一時停止	右イヤピース	2回タップする
次のトラック	右イヤピース	3回タップする
前のトラック	左イヤピース	3回タップする
音量調整 +	右イヤピース	1回タップしてから長押しする
音量調整 -	左イヤピース	1回タップしてから長押しする

 注意

- 最大音量に達したことを表示する音が聞こえます。

通話の制御

タスク	MFT	操作
電話に出る/電話を切る	右/左イヤピース	1回タップする
電話を切る/着信拒否	右/左イヤピース	2回タップする

音声アシスタント

タスク	ボタン	操作
音声アシスタント (Siri/Google) の起動	右イヤピース	音が鳴った後もタッチし続ける
音声アシスタントを停止する	右イヤピース	1回タップする

イヤピース LED インジケーターの状態

イヤピースの状態	インジケーター
イヤピースが Bluetooth デバイスに接続されている	白い LED が1回点滅する
イヤピースのペアリング準備完了	LED が青と白で交互に点滅する
イヤピースがオンだが Bluetooth デバイスに接続されていない	白い LED が1秒おきに点滅する (3分後に自動的に消灯)
バッテリー残量低下 (イヤピース)	白い LED が5秒おきに3回点滅する
バッテリーが満充電 (充電ケース)	ケースの LED を参照

充電ケース LED インジケーターの状態

充電中	インジケーター
バッテリー残量低下	オレンジの LED が点灯
バッテリー残量が中程度	白い LED が点灯

使用中でカバーが開いている	インジケーター
バッテリー残量低下	オレンジ色の LED が4回ゆっくり点滅する
バッテリー残量が中程度	白い LED が5秒間点灯する

5 イヤピースのリセット

ペアリングまたは接続で問題が発生した場合、次の手順を実行して、イヤピースを工場初期設定に復帰させることができます。

- 1 お使いの Bluetooth デバイスで Bluetooth メニューに移動し、デバイスリストから **Philips TAT3509** を削除します。
- 2 お使いの Bluetooth デバイスの Bluetooth 機能をオフにします。
- 3 イヤピースを充電ケースに戻し、蓋を開きます。
- 4 ケースのボタンを2回押します。
- 5 「イヤピースの使用法 - Bluetooth デバイスにイヤピースを接続する」の手順に従います。
- 6 お使いの Bluetooth デバイスとイヤピースをペアリングし、**Philips TAT3509** を選択します。

イヤピースが反応しない場合、下の手順に従って、イヤピースのハードウェアをリセットすることができます。

- 充電ボックスにイヤピースを戻し、蓋を開き、ボックスのボタンを 10 秒以上長押しします。

6 技術データ

- 音楽再生時間 (ANC オン): 6 + 12時間
- 音楽再生時間 (ANC オフ): 8 + 16時間
- 充電時間: 2.5時間
- 各イヤピースに 58 mAh リチウムイオンバッテリー。充電ケースに 420 mAh リチウムイオンバッテリー
- Bluetooth のバージョン: 5.3
- 互換 Bluetooth プロファイル:
 - HFP (Hands-Free Profile)
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
 - TMAP (Telephony and Media Audio Profile)
- サポート対象のオーディオコーデック: LC3、SBC、AAC
- 周波数範囲: 2.402 ~ 2.480 GHz
- 送信電力: 10 dBm 未満
- 動作範囲: 最大 10メートル (33フィート)
- 自動電源オフ
- 充電用 USB-C ポート
- バッテリー残量低下警告: 利用可能



注意

- 仕様は予告なく変更されることがあります。

7 注意

適合宣言

TP Vision Europe B.V. では、本製品が 2014/53/EU の RED 指令および UK Radio Equipment Regulations SI 2017 No 1206 のその他の関連規定に準拠していることをここに宣言いたします。適合宣言は www.philips.com/support でご覧になれます。

使用済み製品と電池の廃棄



本製品は、リサイクルや再利用が可能な高品質の材料と部品を使用して設計・製造されています。



製品に記載のこの記号は、本製品が欧州指令 2012/19/EU に準拠していることを意味します。

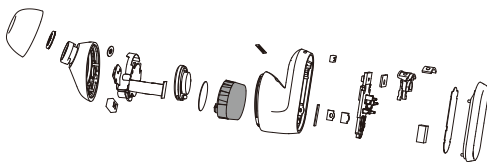


この記号は、本製品に、欧州規制 (EU) 2023/1542 で規定されている、家庭用ごみと一緒に廃棄できない充電式バッテリーが内蔵されていることを意味します。本製品を、指定の回収場所または Philips サービスセンターにお持ちになり、技術者に充電式バッテリーの取り出しを依頼するよう、強くお勧めします。お近くの電気電子機器・充電式バッテリー回収場所について把握しておいてください。お住まいの地域の規則に従って、絶対に本製品や充電式バッテリーを家庭用ごみと一緒に廃棄しないでください。使用済み製品と充電式バッテリーを適切な方法で廃棄することによって、環境や人体に対する悪影響を防止することができます。

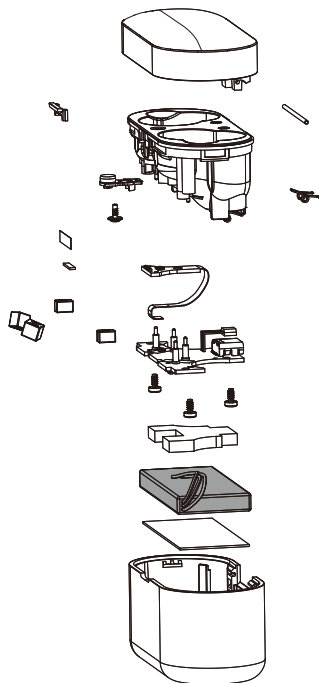
内蔵バッテリーの取り外し

お住まいの国に電子機器の回収 / リサイクル規則が規定されていない場合でも、ヘッドフォンを廃棄する前に、バッテリーを取り外してリサイクルすることで、環境が保護できます。

- バッテリーを取り外す前に、ヘッドフォンと充電ケースの接続が解除されていることを確認してください。



- バッテリーを取り外す前に、充電ケースと USB 充電ケーブルの接続が解除されていることを確認してください。



EMF 規格準拠

本製品は、電磁場への曝露に関するすべての該当規則・規則に準拠しています。

環境に関する情報

不要な梱包材は使用されていません。
本システムは、専門業者が分解した場合にリサイクルと再使用が行なえる材料で構成されています。梱包材、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄に関する地元の規則に従ってください。

準拠に関する注意

本装置は、連邦通信委員会規則第 15 条に準拠しています。本装置は、以下の 2 条件を理解した上で操作してください：

1. 本装置が有害な妨害を発生させないこと。
2. 本装置は、その動作に影響を及ぼすような妨害を受ける恐れがあることを留意の上で使用すること。

連邦通信委員会規則

本装置は連邦通信委員会規則第 15 条の基準に基づくクラス B デジタル機器です。この制限事項は、住宅内に設置された場合に、有害な妨害から適切に保護するために設けられたものです。本装置は無線周波数を発生、使用、放射するため、取扱説明書通りに取付および使用されない場合は、無線通信に有害な妨害を招く恐れがあります。
ただし、特定の取付方法によって妨害が生じないという保証はありません。本装置がラジオやテレビ受信機に対して有害な混信を招き、本装置の電源の入切を行なうことによって本装置が原因であると確認できた場合、次の 1 つまたはそれ以上の措置に従って混信を正すようにしてください：

- 受信アンテナの方向を調整する、または位置を変える。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 本装置を、受信機が接続されているものと異なる電源に接続する。

- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談する。

米国連邦通信委員会の電磁波曝露に関する声明

本装置は、非制御環境下での米国連邦通信委員会電磁波曝露限度に関する規定を遵守しています。

本送信器は、他のアンテナや送信器と併設または同時に作動させてはなりません。

注意:本装置に、上記条項の遵守責務を有する団体が許可していない変更や改造を加えた場合、ユーザーは、本装置を使用する権利を失うことがあります。

カナダ:

本装置はカナダ連邦政府イノベーション・科学経済開発省の免許不要 RSS 基準に準拠する免許不要送受信器を内蔵しています。本装置は、以下の 2 条件を理解した上で操作してください：(1) 本装置が有害な妨害を発生させないこと。(2) 本装置は、その動作に影響を及ぼすような妨害を受ける恐れがあることを留意の上で使用すること。

CAN ICES(B)/NMB(B)

電磁波曝露に関するカナダ産業省声明:

本装置は、非制御環境下でのカナダ電磁波曝露限度に関する規定を遵守しています。本送信器は、他のアンテナや送信器と併設または同時に作動させてはなりません。

8 商標

Bluetooth

Bluetooth® のワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。MMD Hong Kong Holding Limited ではそのライセンスに基づいてこうしたマークを使用しています。その他の商標および商標名は、各権利保有者の所有物です。

Siri

Siri は、米国および諸外国で登録済の Apple Inc. の商標です。

Google

Google および Google Play は Google LLC の商標です。

9 よく尋ねられる質問

Bluetooth イヤピースの電源が入りません。
バッテリー残量が低下しています。イヤピースを充電してください。

Bluetooth イヤピースと Bluetooth デバイスがペアリングできません。

Bluetooth が無効になっています。イヤピースの電源を入れる前に、お使いの Bluetooth デバイスで Bluetooth 機能を有効にし、Bluetooth デバイスを起動してください。

ペアリングが動作しません。

- 両方のイヤピースを充電ケースに入れてください。
- 以前に接続した Bluetooth デバイスの Bluetooth 機能が無効になっていることを確認します。
- お使いの Bluetooth デバイスの Bluetooth リストから「Philips TAT3509」を削除します。
- イヤピースをペアリングします (7 ページの「初めてイヤピースと Bluetooth デバイスをペアリングする場合」を参照してください)。

Bluetooth デバイスがイヤピースを見つけることができません。

- イヤピースが、以前にペアリングされたデバイスと接続されたままになっている可能性があります。接続先のデバイスの電源を切るか、動作範囲外に移動させます。
- ペアリングがリセットされているか、以前にイヤピースが別のデバイスとペアリングされています。取扱説明書に従って、イヤピースと Bluetooth デバイスをもう一度ペアリングしてください。(7 ページの「初めてイヤピースと Bluetooth デバイスをペアリングする場合」をご覧ください)。

Bluetooth イヤピースがステレオ対応の Bluetooth スマートフォンに接続されていませんが、音楽がスマートフォンのスピーカーからのみ再生されます。

お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。イヤピースから音楽を再生するように選択してください。

音質が悪く、ガリガリという雑音が聞こえます。

- Bluetooth デバイスが範囲外です。イヤピースと Bluetooth デバイスの間の距離を短くするか、両者の間から障害物を取り除きます。
- イヤピースを充電してください。

スマートフォンからストリーミングする際に音質が悪い。ストリーミングが非常に遅い。またはストリーミングがまったく動作しません。

お使いのスマートフォンが (モノラル) HFP だけでなく、A2DP もサポートし、BT4.0x (またはそれ以降) と互換性があることを確認してください (12 ページの「技術データ」を参照してください)。

ヘッドフォンを定期的に掃除してください。

- 汗や耳垢などの物質が蓄積しないように、湿らせた清潔な布で、定期的に、ヘッドフォン、特に音導管やマイクの穴を掃除してください。
- 音導管や空気穴やマイク穴に汗や水滴が残っていると、一時的に音量が低下したり、まったく聞こえなくなります。これは故障ではありません。湿らせた柔らかい布で、ヘッドフォンを完全に乾かしてください。もしくは、イヤホンチップを取り外し、音導管を下に向け、乾いた布などの上にヘッドフォンを 5 回ほど軽くたたき、中に溜まった水を取り除いてください。
- 充電して使用する前に、ヘッドフォンが完全に乾燥していることを確認してください。清掃には、使い捨てアルコールパッドなどの使用は避けてください。

ヘッドフォンを定期的に充電してください。

長時間ヘッドフォンを使用しない場合、充電式バッテリーの残量が低下し始めます。この損失を避けるために、少なくとも 3 か月に 1 回、バッテリーを満充電してください。



2024 © MMD Hong Kong Holding Limited. 全著作権所有。
仕様は予告なく変更されることがあります。Philips および Philips
Shield Emblem は、Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、ライ
センスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding
Limited またはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、
MMD Hong Kong Holding Limited が本製品に関する保証を担当し
ます。その他の会社名および製品名は、それぞれの関連会社の商標であ
る可能性があります。

